



## まち角図書館

日常の3つのスケッチです。  
 ●筆者が利用する商店街の入口に「まち角図書館」があります。自治体がスチール製の書架を設置し、読み物を並べています。「貸出期限なし、手続き不要」ですから、気楽に借りることができます。

ホームページをみると、市内に11カ所、蔵書は市民からの寄付、ボランティアが維持をしているとのこと。死蔵される本を生き返らせるひと工夫です。筆者も時々、書架を覗きます。たまに貴重な（筆者にとって）書籍が混じっていると、大儲けをした気分になります。

●京都の岩倉に円通寺があります。江戸時代初期に離宮として造営された後、お寺になりました。比叡山を借景とした庭園が有名です。

半世紀ぶりに円通寺を訪ねました。当時、岩倉はまだ京都の田舎。田圃や畑を見ながら歩いた記憶があります。しかし、その風景はまったく変わりました。寺の隣接地は新興住宅地です。叡山電鉄と京阪電鉄が接続し、山に囲まれた岩倉は、優良住宅地に変わりました。にも関わらず、円通寺庭園の眺望は変わりません。眺望を遮る建物がないため、霊峰ともいえる比叡山を楽しめます。宅地開発をした業者さんが、配慮されたのでしょうか（開発への反対運動もあったことと思います）。また、植栽で上手に住宅を隠す庭師の工夫もあるはず。ギリギリの努力によって借景は維持されています。住宅地の側にまわると、お寺はまわり



中嶋哲夫の「人事も歩けば」



▲車庫で整備されるチキンラーメンのラッピングバス

の丘陵と一体化し、里山を形成しています。住む方にとっても貴重な自然です。

●地元の話に戻ります。チキンラーメンのラッピングバスの話です。写真を撮りたいと以前から考えていました。運転中に何回か出会ったのですが、写真を撮ることができないままでした。先日、病院帰りにバス会社の車庫を通ったら、ラッピングバスが整備中。大喜びで写真を撮りました。数年越しの願いがかないました。熊本の市電、大阪モノレールとバス、これでラッピング車両の写真が3枚揃いました。

新型コロナウイルスの影響で行動を自粛せざるを得ない状況が続きます。普段は気に止まらない身近な世界に気づく機会は増えそうです。身近な場所にも、さまざまな工夫が積み重なっていることに気づくことができればよいのですが。

(MBO 実践支援センター代表)